

2 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(2) ポストコロナ時代を見据えた経済活動 ②スタートアップ等に果敢に挑戦できる環境整備

国への提案事項

新型コロナ危機を通じて、急速なデジタル技術の進展・実装により、時間や場所にとらわれないビジネス環境が整い、二拠点居住や副業・兼業が進んでいるとともに、デジタルネイティブ世代である若者による起業が進み始めていることなど、「地方を挑戦の場として有利にしつつある」変化が起きつつある。

こうした中で、日本経済を力強く成長させるためには、地方を挑戦の場として変革させる「LX(ローカル・トランスフォーメーション)」を推進し、地方からも、スタートアップをはじめとする、新たな価値や産業が生まれる環境を整える必要があり、すでに広島では、世界に羽ばたき大きく急成長する企業をロールモデルとして挑戦することが当たり前の文化・風土を生み出す、「ひろしまユニコーン10プロジェクト」を始動したところである。ついては、国においても、こうした地方の取組と連動しながら必要な施策に取り組んでいただきたい。

スタートアップ等に果敢に挑戦できる環境整備

- 若者の挑戦を引き出し、後押しするため、国において、全国規模で正しいロールモデルやメンターとなりえる人材のプール化に取り組み、地方から当該人材に容易にアクセスできる環境整備を行うこと。
- 首都圏の大学を中心とした起業エコシステム先進組織のリソースを、地方が活用するためには、専門的な知見を有する人材の確保や、多額の費用を要することから、国において継続支援を行うこと。
- スタートアップの先進的なビジネスモデルの社会実装に向け、地方公共団体と軌を一にして、大胆に規制緩和等に取り組むこと。
- 国のスタートアップ施策を一元的に方向付けし、推進する体制を構築するとともに、日本版SBIR制度をはじめとする各省の支援施策のワンストップ窓口を設けるとともに、地方にも支部を設置するなど、地方においてもスタートアップ施策を活用しやすい環境を整備すること。

【提案先省庁:経済産業省】

2 LX(ローカル・トランスフォーメーション)の推進

(2) ポストコロナ時代を見据えた経済活動

② スタートアップ等に果敢に挑戦できる環境整備

広島県の取組

- 県内をまるごと実証フィールドとして活用し、県内外のプレイヤーの共創によるイノベーションの創出を目指す「ひろしまサンドボックス」などを通じた、新しいアイデアやデジタルの知見・技術を持った人材の集積
- 新たな創業を創出するため、窓口相談、創業サポーターの派遣、創業セミナーの開催等の総合的な支援
- 広島から、世界に羽ばたき大きく急成長する企業を輩出し、これをロールモデルとして、「挑戦することが当たり前」の文化・風土を生み出す「ひろしまユニコーン10プロジェクト」の始動。

課題

- 新たな成長分野の創出には、地方の変革に対し、強いコミットメントを持ち、創業やイノベーション創出に挑戦する人材への後押しが必要。また、今後、デジタル活用は必須であり、デジタルを使うことに長けた人材の育成が急務。
- 諸外国に比べ、我が国において起業が少ない大きな要因は、「身近な起業家(ロールモデル)がないこと」であり、特に地方においては顕著である。
- 既成概念にとらわれないスタートアップ人材を創出・集積(獲得)する環境整備を目指し、成長段階に応じた支援が必要。